



梅雨にしておきたい、洗濯機のカビ予防とカビ取り

家中の湿度が高くなる梅雨。いろいろな場所にカビが発生しますが、特に気をつけたいのが水回り。なかでも盲点なのが洗濯槽の裏側です。

定期的にかび取りをして清潔に保ちましょう！

洗濯機から汚れカスが出たらすぐにカビ取りを！

洗濯機を長く使い続けていると、水にワカメのようなものが浮いたり、衣服に黒っぽいカスがついたりすることがあります。実はこれが洗濯機で発生したカビです。

カビが発生するのは主に洗濯槽の裏側。ふだん目に見えないので、水に浮いたり衣服についたりしてから初めて気づく人も多いようです。こうしたカビが出たら、すぐにカビ取りをしましょう！もちろん、目につく前に定期的にお手入れの方が効果的です。

洗濯機のカビ取り方法

洗濯機のカビ取り方法は「槽洗浄コース」の有無で変わります。

1. 「槽洗浄コース」のある洗濯機

市販またはメーカー製の塩素系洗濯槽クリーナーを入れて、「槽洗浄コース」で運転します。

クリーナーは、ドラム式洗濯機用と縦型洗濯機用の2種類あるので気をつけましょう。

※ドラム式は少ない水で洗浄できるため、成分や分量が異なることがあります。

また、しっかり「槽洗浄」したあとの定期的なカビ予防なら、塩素系漂白剤ですませることもできます。使用時の分量や使用可能かどうかは、洗濯機の取扱説明書でご確認ください。

ふだん洗剤を多めに入れるご家庭や、粉石けんや液体石けんを使っているご家庭は、月に一度は「槽洗浄コース」で運転しましょう。

2. 「槽洗浄コース」のない洗濯機

「槽洗浄コース」がない機種でも、洗濯槽を洗えます。方法は、「毛布」や「大物洗い」などの水がたっぷりたまるコースで、市販やメーカー製の洗濯槽クリーナーを使います。具体的な手順は、取扱説明書かメーカーの公式サイト等でご確認ください。

酸素系漂白剤や重曹などはNGのメーカーも！

インターネットやSNS上には、「槽洗浄」に酸素系漂白剤、重曹、クエン酸、酢などをおすすめしている記事やクチコミがありますが、これらを推奨していないメーカーもあります。泡が立ちすぎて洗浄途中で排水されたり漏れたりする危険がある、溶け残りやすいといったことが理由です。まずはお使いの洗濯機の取扱説明書をよく読んで、指定の洗剤や方法で「槽洗浄」をしましょう。そして、洗濯機と衣類のカビを防いで梅雨を爽やかに過ごしましょう！

